

平成30年度私費外国人留学生入試

## 小論文

農学部 農業経済学科

平成30年1月23日（火）実施

9時00分～10時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと

1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」を、受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、問題用紙2枚、解答用紙3枚、下書き用紙3枚が封入されており、2つの設問がある。  
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。  
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

試験問題

農業経済学科	小論文
--------	-----

これからの時代は、ごみを限りなく減らして、そのことでごみの焼却や埋立処理による環境への負担をできるだけ少なくし、さらに、限りある地球の資源の使用を減らすために、資源を有効的に繰り返し使う「循環型社会」を実現することが重要とされている。

日本では、循環型社会を実現するために「3R」に取り組んできた。3Rとは、ごみの発生、資源の消費をもとから減らすリデュース、繰り返し使うリユース、資源として再び利用するリサイクルからなる。図1は3Rを図解したものである。

問1 表1は、日本における3Rに対する国民の意識変化を示した表である。図1や表1からわかることを200字以内で答えなさい。

問2 あなたの国では、循環型社会を実現するためどのような対策が行われているかを述べたうえで、より効果的な対策とするためには何が必要になるかを考えて、800字以内で答えなさい。

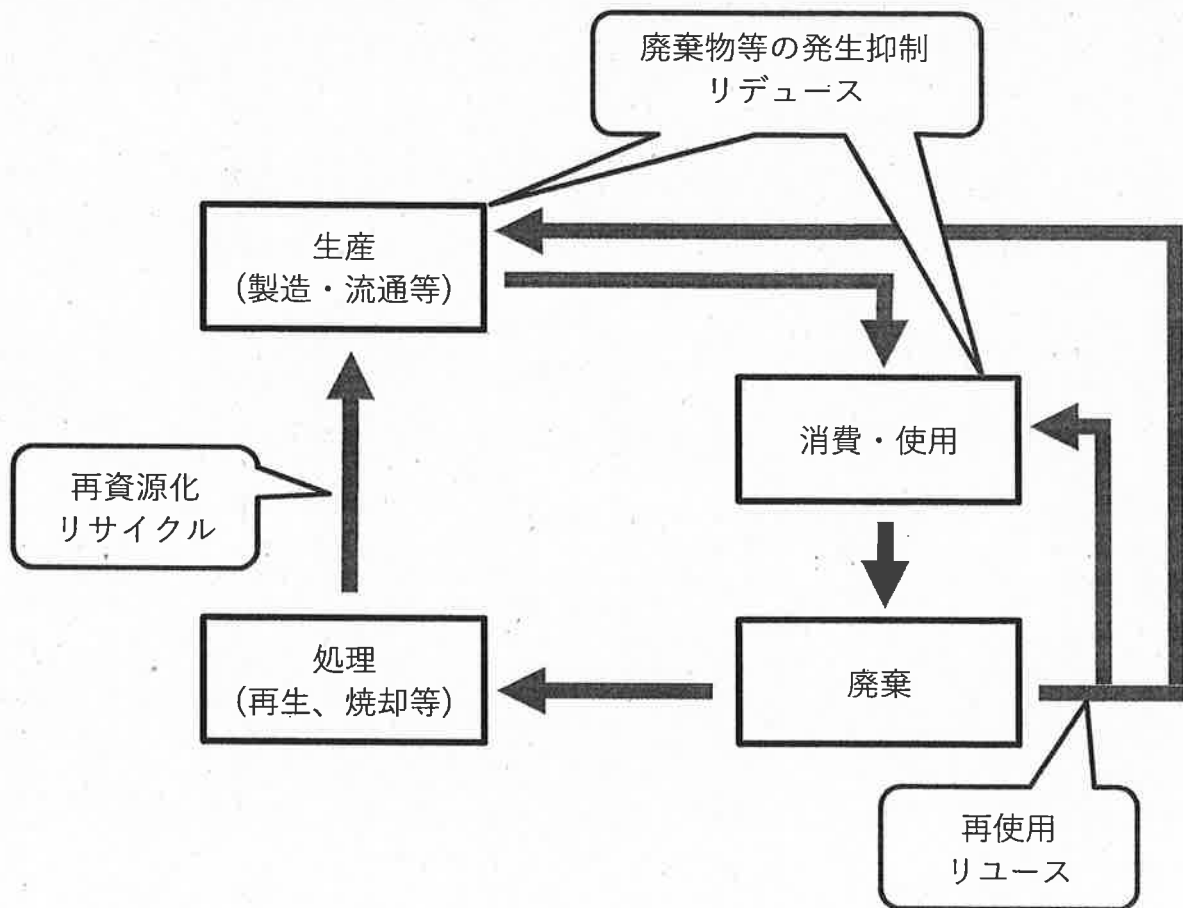


図1 日本における3R

資料：「平成26年版環境・循環型社会・生物多様性白書」環境省を一部修正

農業経済学科	小論文
--------	-----

表1 3R全般に関する意識の変化(%)

	2007年度	2011年度	2015年度
ごみ問題に関心がある	85.9	81.2	70.3
3Rという言葉を知っている	22.1	41.7	35.8
ごみを少なくする配慮やリサイクルを心掛けている	79.3	67.0	57.8
ごみの問題は深刻だと思いながらも、多くのものを買ひ、多くのものを捨てている	7.0	11.3	12.7
環境に優しい製品の購入を心掛けている	86.0	82.1	78.3
環境に優しい製品の購入を全く心掛けていない	11.0	14.8	15.6

資料：「平成29年版環境・循環型社会・生物多様性白書」環境省を一部修正